

様

人工膝関節置換術を受けられる方の入院治療計画書

経過	手術前日	手術当日(術前)	(術後)	術後1日目	2日目	3日目	7日目(1週)	14日目(2週)	21日～28日目(4週)
月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
検査	・アレルギーの有無をお聞きします		・採血	・採血	・尿の管が抜けたら、排尿状態をみるため尿量と残尿測定をします		・採血 ・レントゲン撮影	・採血 ・レントゲン撮影	・採血 ・レントゲン撮影
内服・注射	・お薬は自宅にある物を全て持参してください ・21時から痛み止めの内服を開始します ・眠れない時は、お薬を用意しています。看護師に申し出ください	・朝の薬は中止の指示がなければ内服します ・水分補給の点滴を()頃から行います	・抗生物質と水分補給の点滴があります ・内服薬は、おなかの動きを確認してから再開していきます	・抗生物質の点滴があります(3回/日) ・夕方から血栓を予防する薬を2週間のみます					・痛みの状況を見て痛み止めの量を減らします
処置		・点滴を行う際、手術着に着替えます。事前に排尿を済ませてください ・パンツ以外の身につけているものははずします 	・足には厚い包帯が巻かれています。専用のパッドを巻いて膝を冷やします(2日間) ・心電図モニターを翌朝まで装着します ・痛み止めのチューブが背中に入ってきます ・翌朝までフットポンプでマッサージをします	・創部の消毒をします ・痛み止めのチューブを抜きます ・フットポンプでマッサージをします(1日2時間、歩行開始まで) ・フットポンプをしていない時間は弾性ストッキングをはきます(術後1か月間は履きます。足の腫れが強い場合はそれ以降も)	・膝を冷やす機械をはずし、保冷剤で冷やすようにします ・創部の消毒をします		・創部の消毒をします ・2cm位のテープが何本か貼ってありますが、剥がれたらそのまま大丈夫です。無理に剥がさないでください		
食事	()以降、食べ物食べられません 水分(水かお茶)は翌日朝まで飲みます 	()以降、飲み物も飲めません	・手術後2時間は絶飲食です。その後、おなかの動きを確認してから飲水、食事の開始時間をお知らせします ※食事開始後は特に制限はありません。 						
活動	・制限はありません	・制限はありません	・麻酔が覚めるまではベッド上安静です ・麻酔が覚めたら、車椅子に乗ってもかまいません。手術をした足に体重をかけても大丈夫です。排便がしたいときは車椅子で介助しますので、ナースコールを押してください ※ベッド上で体を動かすことは自由ですが、点滴、尿を出す管、痛み止めのチューブが入っているため注意して下さい ・足首を上下に動かす運動を、朝・昼・夕に20回ずつ行いましょう	・車椅子に乗るリハビリを開始します	・歩行器の使用も可能です	・痛みにあわせ、歩行器、または杖で歩く事ができます ・機械を使って膝を曲げるリハビリもします(機械名→CPM) 			・リハビリの状況に応じて退院がきます
排泄	・便秘の方は夕食後に便の出る座薬を使用し排便します	・手術室に行く直前に排尿を済ませます	・尿をだす管が入ってきます ・排便がしたくなったら、看護師介助のもと車椅子でトイレに行けます		・車椅子移乗ができれば尿の管も抜きます				
清潔	・シャワーができます 	・手術前には、口腔内をきれいにしていきます。朝は歯磨きをお願いします		・看護師が体を拭きます 	・創部が問題なければ、傷に防水保護してシャワーに入れます	・創部が問題なければ保護しないでシャワーに入れます			
説明	・手術後は足の静脈血栓症の予防に弾性ストッキングをはくのでサイズを測ります 【手術時に必要な物】 ・テープ式オムツ4枚 ・リハビリで使用する靴を用意して下さい	・手術室へ()頃に行きます ・手術は2時間位の予定です(麻酔時間が前後30～1時間ほどかかりますので、病棟を出てから全部で4時間近くかかります) ・手術中、ご家族は病棟でお待ちください	・医師より、ご家族に手術後の説明があります 					・地域包括ケア病棟(リハビリに力を入れて自宅へ帰る準備をする病棟:7階西病棟)へ移ります	・次回受診の説明があります ・保険の診断書が必要な方は退院日か前日の午後15時に整形外来2番ブロック受付に提出してください